

1062  
発行  
2022年  
2月14日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
清野 聡  
編集責任者  
教 宣 部

# 6千円のベースアップ要求

2022春闘の統一要求は、各エリア委員会終了後の2月14日に各社一斉に要求を提出し、全組合員が参加する春闘を展開していきます。

2月14日に労働条件改善要求等と共に、JR各社へ一斉に申し入れます。

## 2月14日一斉に申し入れ

統一重点項目は10項目あり JR各社及びグループ会社における定期昇給の完全実施。

2022年4月1日時点における基本給(平均)の2.2%相当額、6千円を基本とするベースアップを求める。などの項目になっ



特 第192回  
集 拡大中央委員会



## 客乗原告団は活動休止

JAL客乗原告団は、2月以降当の間、活動を休止することを決定しました。

今後は、CCU・JHUそれぞれの所属する組合の方針に則って争議の全面解決に向けて取り組んでいきます。

1月30日付けでFAXの文面です事実上、客乗原告団は解散になりました。

厳しい状況になりましたが、国労新潟地本としてJAL闘争については引き続き支援していく決意です。

# 松川委員長あいさつ

第192回拡大中央委員会・松川委員長あいさつです。全文は長文になるので短くまとめました。

## 感染が拡大した

コロナ禍の中での開催となった。感染拡大してから2年が経過した。オミクロン株が発生している。諸会議や行動が中止になり問題が多かった。

労働講座についてもリモートで出席できる環境となった。今後の厳しい組織減少などあるがリモートを活用して運動を展開していく。



## 地本1名の目標

組織拡大の取り組みで、順調に推移している。厳しい財政状況だが組織拡大の取り組みは進めている。

組織の状況は現職より再雇用者が上回る。本年度の拡大は最低限の拡大をめざす。地本で1名の拡大、全国で50名の拡大をめざす。あきらめずに取り組みを進める。

## 社友会は労働組合ではない

議論し何ができるのか、それを取り組みに結び付ける。JR東日本は未加入者が多くなっている。社友会は労働組合ではない。労働組合だけが要求し改善できる。

3月期、2年連続の赤字が発生している。そのためJR東日本では働き方への改善、JR西日本は要員の削減、行き過ぎた効率化、こんな状況から何がおこるのか、鉄道の安全を担保するため交渉を強化していく。

(裏面に続く)



JR九州は自動運転

駅の無人化が  
多くなっている

JR九州は自動運転が行われている。  
JR東日本は自動運転の試運転が実施  
されている。

駅の無人化が多くなっている。駅  
ではトラブルが発生し毎日が異常時  
と言われるほど発生する事故やトラ  
ブルに誰が対応するのが。

「安全」は確立できるのか

香推線や常磐線でATS&ATOを活用  
した自動運転が行われている。  
最大の使命である「安全」は確立  
することができるのか。

求を掲げて闘うこととする。

国労春闘を展開

各エリア委員会終了後の2月14日  
に各社一斉に要求を提出する。各工  
リアで創意工夫して全組合員が参加  
する国労春闘を展開していくことと  
する。



定期昇給を  
完全実施させる

2022春闘について、2016  
年をピークに一般労働者の現金給与  
額の実質賃金は減り続けている。  
今春闘では、定期昇給の完全実施  
させることを大前提として新賃金要



来年7月に契約移転

交連共済は、来年7月に、こくみ  
ん共済コープへ契約移転することが  
既に決定されている。

本部は昨年来、交連共済本部を含  
め、こくみ共済と意見交換を行い  
契約者である組合員に不利益がない  
ように議論している。

これから迎える2022春闘の闘  
いから、組織拡大の取り組みを中心  
に、次期全国大会まで全力を挙げる。

国鉄新聞が後ほど発行されますの  
で詳細については、国鉄新聞を参照  
してください。



# 編集後記

コロナの感染が拡大し、国労東日  
本本部の拡大委員会は文書での審議  
になりリモートでの開催も中止とな  
りました。  
オミクロン株の感染は強烈ですね。  
新潟県も「まん延防止」が延長にな  
り3月6日までとなりました。



これから拡大地方委員会の開催や  
春闘の取り組みについて厳しくなっ  
てきます。19日の地本・執行委員会  
で今後の取り組み・行動について議  
論されますが、拡大地方委員会の開  
催は厳しいと思います。

3月7日、地本の春闘行動を計画  
していますが、これについても難し  
いと思います。



これから冬は終を告げ、春へと季  
節が変わっていきます。せつかく春  
暖かくなりますが、コロナ禍の中  
は、まだまだ自粛が続きます。

# ちよつといっぶく

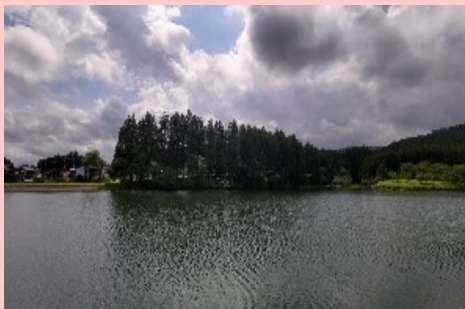
新潟県の山沿いや魚沼地方は、大雪になりました。  
津南町は積雪が3mを超えました。一晩で1m近く降  
雪がありました。

さすがに、雪に強い津南町の方々も本気モードになっ  
たのでしょうか。しかし大雪警報が発令されても津南の  
方々は、まったく動じていません。

毎日、普段道どおりの生活をしています。1年間の平均  
降雪量ですが、11月から降り始めますが平均の降雪  
量が833センチだそうです。

今シーズンは、すでに1010センチになっている  
そうです。平均の121%です。

これから雪の下のキャベツや雪下にんじんが出荷さ  
れるそうです。とっても甘く美味しいです。私は雪下  
にんじんを地元に行った時、購入しました。  
とっても甘いので、サラダで食べました。



そして、津南は自然がいっぱいあります。龍が窪や  
山の展望台、川の展望台があり、素晴らしい景色です。

そして、温泉も最高ですね。私は、いつも泊まっ  
ている宿は「越後田中温泉しなの荘」です。温泉は美人  
の湯としても知られる茶褐色の優しいアルカリ性の  
お湯です。

肌になめらかで、とっても温まります。